

管理部長 殿

管理部 山田 太郎
内線 1234
yamada@example.com

給与振込データの二重送信に関する顛末書

1. 発生した事象

8 月 21 日 10 時 15 分、7 月分の給与振込データを銀行へ二重に送信しました。

対象は 3 名分、金額は合計 782,400 円です。

2. 原因

送信の完了を確認する手順が無く、送信済みかどうかを画面の表示だけで判断していました。

また、送信の記録を残す欄が作業手順書に無く、誰が送信したかを後から確認できませんでした。

通信が一時的に遅れた際に、未送信と読み取れる表示のまま再送できる状態でした。

3. 実施した対応

同日 11 時 40 分に銀行へ連絡し、組戻しの手続きを依頼しました。

対象の 3 名には当日中に経緯を説明し、了承をいただいています。

4. 再発防止策

送信の直前に、銀行側の送信履歴で当月分の有無を確認する手順を追加します。

記

項目	内容
1. 発生日時（二重送信の実行時刻）	8/21 10:15
2. 影響範囲（対象者数と金額）	3 名・782,400 円
3. 復旧日時（返金の確認時刻）	8/22 15:30
4. 対応に要した時間	4.5 時間

以上

備考

銀行とのやり取りの記録は共有フォルダの給与振込記録に保存しています。

2026 年版 【テンプレート注記・配布物では削除可】 一般的な様式です。提出先・提出期限・懲戒手続との関係は各社の規程に従ってください。原因は個人の不注意ではなく、手順や仕組みの不備として記載します。